



一 般 質 問 …… P 2 ～ 6

町 議 会 審 議 結 果 …… P 7 ～ 9  
5月臨時会 6月定例会

委 員 会 等 の 動 き …… P 10 ～ 12

政 務 活 動 費 報 告 …… P 12

議 会 ニ ュ ー ス …… P 13

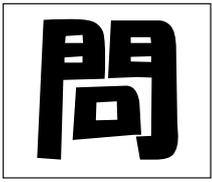
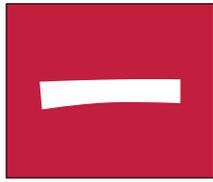
表 紙 の コ メ ン ト …… P 14

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



認定こども園「ここふれ」で、毎日元気いっぱい遊ぶかみかわっ子

## 第4回町議会



令和7年第4回町議会（定例2）の一般質問は、6月17日に行い、小林議員ほか計3人が町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）

### たいせつの絆

観光客や若者の利用を促しては 他2件

町長「すでに設備の想定人数を超えている。快適に使えるよう慎重に検討」

たいせつの絆の湯の利用と将来の見通しについて



「変わり湯」や「町民無料デー」等に取り組み利用者を増やしている（写真は今年5月の菖蒲の湯）

#### 小林議員

絆の湯は、自宅にお風呂がない方や高齢者にとって大切な施設だ。健康づくりや憩いの場としても重要である。

65歳以上の方は無料で利用

できるが、実際の利用状況はどうなっているか。

また将来の見通しや、もっと利用してもらうための取り組みについて町長の考えを伺う。

#### 町長

絆の湯は、町民のふれあいや福祉向上を目的とする施設だ。5月の利用者は3042人でそのうち約87%が無料対象の65歳以上の方だった。利用者数はゆるやかに増えている。

朝風呂や変わり湯、川柳募集などを行い、楽しめる工夫をしているほか、町民無料デーや月額利用券を導入し、利便性も向上した。大広間等も地域活動に活用されている。地域のつながりを育む場として、今後もその役割を果たしていく。



こばやし つくお 議員  
小林 健男

#### 小林議員

一日1000人が利用しているとのことだが、もともとの施設設計では何人を想定していたのか。

また、観光客や若い人たちにもっと利用してもらうため、料金を下げるなどの施策は考えていないのか。

#### 町長

整備当初は一日60人の利用を想定していた。現在は1000人を超える日もあり想定以上の利用状況だ。今後は混雑なども考慮しながら、無理に人数を増やすのではなく、快適に利用できる環境を維持したい。

町外の方や若い方への料金見直しについても、利用実態や他施設との比較を踏まえつつ、慎重に検討していく。

## 産業振興対策について

### 小林議員

産業振興補助金について、新品の設備には補助があるが、中古の機械は対象外になっている。

物価が高騰している今、中古も補助対象にしたほうが、より柔軟で効果的な制度になると思うが。

### 町長

中古設備については、耐用年数や保証面、価格の妥当性が不明確なため、現時点では対象外としている。ただし物価高騰の現状も踏まえ、他の自治体や補助制度の動向を調査しながら、今後の制度改正を検討する。

### 小林議員

高齢化のなかで事業継承も難しくなっており、中古機械の導入を希望する声も多くある。できるだけ早く補助対象に含められないだろうか。

また、設備と機械で補助率が異なるのはなぜか。

### 町長

中古品の補助については、随意契約による価格の不透明さや、早期故障によるリスクもあるため、制度としては慎重に検討する。他自治体や国の制度も参考にしながら、導入の可能性を探る。補助率については、厨房などの固定設備は2分の1、動産にあたる備品は3分の1と定めており、用途や必要性に応じて区分している。

## 上川町の人口減少対策について

### 小林議員

日本全体で出生数が大きく減っており、上川町でも人口は今後さらに減る見込みだ。この深刻な問題について、町はどのような将来への展望や対策をもっているのか。

### 町長

人口の自然減は避けられないが、転入者数が増えれば転出者数を上回る「社会増」によって、持続可能な町を目指すことは可能だ。

移住定住の促進、関係人口の拡大に向け、地域おこし協力隊や企業連携を活用し、さらに魅力ある町づくりを進める。また、令和10年度スタートの第11次総合計画に向け、町民の声を反映した取り組みを始めている。

### 小林議員

人口減少が進む中で、これまで移住定住や

地域おこし協力隊などに多くの取り組みをされたと思うが、実際に人口はどれくらい増えたのか。

### 町長

全体の人口は自然減の影響もあり増えていないが、令和5年度には社会増として12人のプラスがあった。移住施策や子育て支援策など、町としてできる限りの取り組みを続けている。

町の魅力を高め、将来的に人口減少に歯止めをかけられるよう努めていく。



『産業振興補助金』の詳細は上川町 HP に掲載(二次元バーコードを読み取ってください)

### 用語解説

「自然増減」は出生者数と死亡者数との差による人口の増減のことで、「社会増減」は転入者数と転出者数との差だぼわん！



## Q 「一般質問」ってなに？

A 議員が町政の現状や方針を問うものです。普段の質疑は「議案の内容に限るもの」で議員個人の考えを述べることでできません。しかし一般質問は、議員の思う政策や展望も語ることでできる貴重な場です。

## 人材育成

若者の交流や研鑽機会を増やす取組を

町長「既存の支援金制度を活用し、若者の主体的な取組をサポートしたい」

上川町の今後の人口減少と人材育成について



上川の未来を背負う若者達の交流・研鑽の場が求められる  
(写真は上川超会議の様子)

### 石山議員

本年度の町長行政執行方針の中に「地域の人材育成・確保に向け、地域おこし協力隊の活動支援や地域活性化起業者、地域プロジェクトマネージャーの活用

を進める」とある。

このことは私も強く賛同するが、上川町には商工青年部・農協青年部のふたつの組織のほか、町内で働く若者たちがたくさんいる。

町の人口が令和22年度には1788人になるとの厳しい試算も出ている中、この若者たちは、これから主となり町をけん引していく世代だ。

停滞していた上川町を新しい発想と行動力で変えようとする若い世代が、より交流を深め、もつと強く大きな形にするためにも、まずは町が主体となり新たな組織（青年会議等）を立ち上げ、若い世代の交流機会の確保や先進地視察、研修会等の研鑽事業に積極的に参加できるように体制づくりが必要と考えるが、町長の考えを伺う。



議員 石山 浩幸

### 町長

本町において人口減少は避けて通れない。当面続く自然減を受け入れつつも、町内に転入する数が増える数を上回る「社会増」に結び付けるための施策に重点を置いている。

地域おこし協力隊制度を活用したカミカワークプロジェクトの推進や、民間企業との包括連携、パートナーシップ協定の締結、官民共創から生まれる関係人口の増加から移住に結び付く事例も増え、様々な業種において人材育成も進んでいるところだ。

また、若者の新しい発想やチャレンジが人を呼び、巻き込み、人と人をつなげ、新旧町民を分け隔てることなく新しいコミュニティが次々と生まれている。

これらの取り組みが進んだ背景には、町民の皆様の移住者を快く受け入れる気質と懐の深さがあり、彼らの活動を好意的かつ積極的にサポートしてくれたものと分析している。

私としては、若い人たちの主体的な活動を最大限尊重し、起業や、新しいコミュニティ創出のための、環境づくりに注力したいと考えている。

昨年度から始めた「みんなが輝くまち上川事業支援金」を有効活用していただき、若い世代の交流機会の確保や、研修参加の促進を図ってもらいたい。

町民の主体的な取り組みにしっかりと伴走し、町民が主役になる協働のまちづくりを推進していく。

### 石山議員

私たちの若い頃には町が立ち上げた青年部組織があり、職業を超えた交流を深めていた。今、若者たちの話を聞くと、そのような関係性がかなり希薄になっていると感じ質問した。

今はSNS等のコミュニケーションツールや、チャットGTP等の簡単に情報を取り出せるサービスがある時代だ。それらのツールを駆使し、上川町の魅力を発信している若者たちには感謝する。

今、上川町が次の時代へ大きく変わろうとする中において、若者たちの間に小さな齟齬が生まれることのないよう、より一層の配慮をお願いしたいが、町長の考えは。

**町長** 若者の交流や、上川町に対する思いをしつかり語り合う機会というのは大切だと思っている。

ただ執行方針でも「共に創る共創のまちづくり」と掲げている通り、あまり町がお膳立てをするべきだとは思っていない。

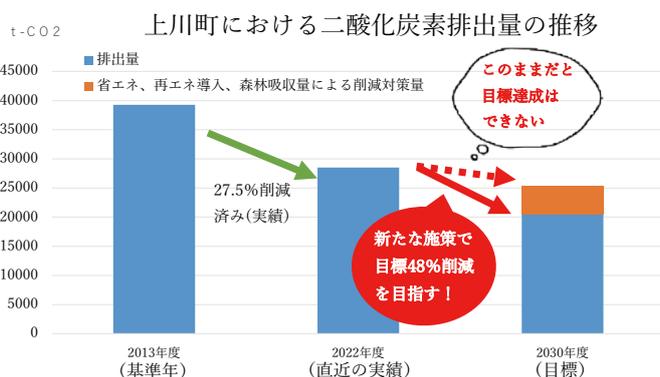
町民の機運が高まり、そのような組織がやはり必要だということになれば、町としてもサポートしていく。

## 温暖化対策

温室効果ガス削減目標は達成できるか

町長「現在27・5%を削減。目標の48%を達成するため更なる施策必要」

### 上川町地球温暖化対策実行計画について



**溝口議員** 近年、地球温暖化によると思われる異常気象や生態系の変化が顕著になってきている。

上川町地球温暖化対策実行計画では、2013年を基準年として、2030年までに温室効果ガス排出量を48%削減することを目標としている。現時点で何%削減できているのか。

また今後、目標達成に向けてどのような施策を推進するつもりか、町長の考えを伺う。

**町長** 直近では、2022年度実績で、27・5%の削減を達成した。

しかし、このまま更なるCO<sub>2</sub>排出抑制に取り組まず2030年へ移行した場合、35・5%の削減にとどまると予測される。

今年度、道庁から資源エネルギー局職員を派遣していたが、上川町地球温暖化対策実行計画・区域施策編に基づ



みぞくち ひさお 議員

くアクションプランの策定作業を進めている。

具体的には、再エネ・省エネ・温暖化対策など課題別に町職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、施策を体系化した行動計画案を作り、上川町ゼロカーボン推進協議会において議論する予定だ。

**溝口議員** このままの施策だけでは目標は達成できないとのことだ。

そこで、省エネ・再エネは上川町において喫緊の課題だと考える。

他自治体では、太陽光発電で役場の電気を一部まかなったり、公用車を電気自動車にしていたりするところもある。上川町でそのような計画はあるか。

**町長** 太陽光の導入は進めていきたい。

また区域施策編も策定したので、公共施設においても予算の範囲内で積極的に活用を進めたい。

**溝口議員** 温暖化を少しでも食い止めるためには、町民の理解と協力が不可欠だ。シンポジウムやチラシ等による周知が必要ではないか。

**町長** アクションプランを策定しても、町民の理解、実践がなければ達成できない。町民の方々に説明する機会や、周知、PR等も図っていききたい。

**溝口議員** 上川町では森林によるCO<sub>2</sub>吸収量が大きいとはいえず、実際に温暖化が進んでいる現状をみれば、森林を大きく頼っているのか。自分たちが責任を持って、排出量を削減していかなければ駄目だと考える。今後の早い対応が重要だ。

その立場で計画・施策を進

めて頂きたい。

**町長** 町としても、排出量に対して吸収源が相当余っているからと、特に何もしなくてよいとは考えていない。しっかりと温暖化対策を進めていく意思は持っている。町民の理解をいただきながら、積極的に取り組みを進めていく。



#### 上川町ゼロカーボンシティ宣言

美しく豊かな自然環境と良好な生活環境の保全を実現し、未来を託す世代に持続可能な地域を引き継いでいくため、町民や地域、事業者の皆さまと一体となって、2050年までに上川町の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します

令和4年7月1日 上川町

上川町は令和4年にゼロカーボンシティ宣言を行った

## 過去の議会を動画で見ることができます

！ YouTube の【上川町議会チャンネル】へアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで

**【上川町議会チャンネル】**

と検索してみてください。



## 意見書を4件提出しました

- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書（提出者 湯川議員）
- 令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書（提出者 昔農議員）
- 北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書（提出者 淵上議員）
- 国内農業を犠牲としない日米関税交渉などを求める意見書（提出者 溝口議員）

# 議 案 審 議 結 果



## 5月臨時会

5月13日に開会し、専決処分の承認1件、財産の取得1件、契約の締結1件、条例の改正2件と一般会計ほか全2会計の補正予算などの7件を審議し、当日中に閉会。

### 可決議案等



導入から32年と長年使用してきた「北鎮号」だが、経年劣化等の理由により更新する

#### ■専決処分

##### ◎令和6年度上川町一般会計補正予算（第11号）

地方譲与税、株式等譲渡所得割交付金、地方交付税などの確定に伴う補正、及び町債の確定による財源振替等の補正、並びに各種基金費の補正等を行った。

#### ■財産の取得

##### ◎財産（水槽付消防ポンプ自動車）の取得について

平成4年に取得した消防団の使用車両を更新する。

#### ■契約の締結

##### ◎上川中学校エアコン設置工事（電気設備）請負契約の締結について

上川中学校のエアコン設置に係る電気設備工事として、エアコン10台及び受変電設備等改修の施工をする。

#### ■条例の改正

##### ◎「上川町税条例」の一部を改正する条例について

地方税法等の改正に伴い、19歳以上23歳未満の特定親族特別控除を新たに設けることに伴う規定の改正など、所要の改正を行う。

##### ◎「上川町都市計画税条例」の一部を改正する条例について

地方税法及びマイナンバー法の改正に伴う条文の整備を行う。

#### ■補正予算

##### ◎令和7年度上川町一般会計補正予算（第1号）

歳入の主な内容

	補正額		補正前の額	補正後の額
		0円	60億3,800万円	60億3,800万円
町 税	1,216万5千円	入湯税過少申告に伴い税額を更生したことによる増		
繰 越 金	△1,642万2千円	(歳入の調整のための減)		
諸 収 入	425万7千円	町税重加算金の増		

##### ◎令和7年度上川町国民健康保険上川町立診療所事業特別会計補正予算（第1号）

北海道市町村備荒資金組合から譲り受けする電子カルテシステム機器等代金において、年利率が1%から1.1%に変更になったことから、債務負担行為の内容を変更する。

# 6月定例会

6月17日に開会し、会期は18日まで。条例の改正3件、指定管理者の指定2件、一般会計ほか全4会計の補正予算、人事案件などの21件を審議し、当日中に閉会。

## 可決議案等

### ■条例の改正

◎「上川町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例」及び「上川町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例」の一部を改正する条例について

「地方自治法」の改正に伴い、本条例に引用している条項の条ずれを修正するもの。

◎国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

「国家公務員等の旅費に関する法律」の改正に伴い、国家公務員の旅費制度との均衡を保つよう関係条例の一部を改正するもの。

◎「上川町国民健康保険税条例」の一部を改正する条例について

「国民健康保険法施行令」の改正に伴い、賦課限度額の引き上げ及び低所得者に対する軽減措置の所得判定基準の引き上げを行う。また、北海道から示された標準保険税率に基づく改正を行うもの。

令和7年度から、一人あたりの国保税が年間平均3,412円増の見込み！

### ■補正予算

◎令和7度上川町一般会計補正予算（第2号）

歳出の主な内容（総務費～商工労働観光費）

	補正額	補正前の額	補正後の額
	4,079万6千円	60億3,800万円	60億7,879万6千円
総務費	2,558万4千円	太陽光発電設備導入可能性等の調査に伴う事務事業委託料の増、地域おこし協力隊1名分の採用に伴う報酬等の増等	
民生費	25万2千円	いきいき福祉健康施設のチップボイラー点火装置の故障に伴う修繕料の増	
農林水産業費	284万9千円	ヒグマ出没対策として電柵導入のための備品購入費の増等	
商工労働観光費	106万8千円	高原温泉ヒグマ情報センターの電気確保のための発電機リースに係る賃借料の増、発電機で使用する燃料費の増等	



町内でヒグマ出没が相次ぐ。電柵の購入や、ヒグマ情報センターの発電機などの予算を確保し、対策を強めていく



太陽光エネルギーの導入を目指し、北海道庁より専門職員が派遣され、検討が進められている

## Pick Up ! 国保税率は、なぜ改正するの？

国保に入っていれば、道内のどこに住んでいても同じ質のサービスを受けられるように、また、どこに住んでいても国保税の負担を平等にするために、北海道はいま国保税の統一水準化を目指しています。これまで上川町の国保税は、道内では低水準だったため、これから道の示す水準に上げていかなければなりません。町民の負担が一気に増えることがないように激変緩和措置を行いながら進める予定です。



◎令和7度上川町一般会計補正予算（第2号）

歳出の主な内容（教育費～諸支出金）

	補正額	補正前の額	補正後の額
教育費	104万3千円	給食センターのエコキュート室外機の故障に伴う修繕料の増 等	
諸支出金	1,000万円	公共下水道上川下水終末処理場他再構築基本設計業務が起債対象外となったことに伴う、下水道会計への補助金の増	

◎その他特別会計補正予算

歳出の主な内容

	補正額	補正前の額	補正後の額
後期高齢者医療事業 特別会計	11万9千円	7,925万4千円	7,937万3千円
		過年度保険料の還付見込額の増加に伴う還付金の増	
国民健康保険 上川町立診療所事業 特別会計	20万2千円	4億7,951万5千円	4億7,971万7千円
		小児用パルスオキシメーターの故障による備品購入費の増 等	
下水道事業会計		上川下水終末処理場他再構築基本設計業務が起債対象外となったことに伴う、資 本的収支から収益的収支への予算の組替補正	

■ 諮問

◎人権擁護委員候補者の推薦について

きくらだ のりこ 氏、いとう せいけん 氏の2名の推薦に同意。

■ 議員派遣

- ・7月8日北海道町村議会議員研修会
- ・7月9日総務文教常任委員会並びに産業福祉常任委員会合同行政視察研修（p13に研修の様子）
- ・8月19日全道議会広報研修会

■ 指定管理者の指定

◎「大雪レクリエーションの森」に係る指定管理者の指定について

◎「大雪森のホール」に係る指定管理者の指定について

令和7年7月1日から令和12年3月31日まで「一般社団法人大雪山森林保全協議会」を指定。

質疑の様子??

小林議員

2施設の指定管理者となった「一般社団法人大雪山森林保全協議会」はどのような団体か？

総務課長

令和6年11月に設立された団体で、中央町に事務所がある。



レクリエーションの森では、広々とした景色を眺めながらマウンテンバイクに乗ることができる



Pick Up ! 「指定管理者制度」民間の力でイキキとした町づくりを

大雪森のガーデン、層雲峡オートキャンプ場、大雪かみかわヌクモなどなど・・・これらはすべて「指定管理者制度」で民間事業者に管理を任せている町の施設です。民間の有するノウハウを活用し、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応していくことで、よりよい町づくりにつなげていきます。

# 委員会の動き

## 総務文教常任委員会

▽4月24日

- ・主要テーマと年間スケジュールについて
- ・入湯税の更正について

### 入湯税の過少申告を受け、今後の対応は

小林委員

今後の入湯税検査については一層気を付けて欲しいが、今後の対応は。

副町長

緊張感というのは一定程度必要なもので、今後は抜き打ち検査を取り入れるなどチェック体制を強化する。

また観光協会や温泉事業組合に対しても適正な対応をお願いしていく。

▽6月3日

- ・7年度の主要事業について

日東水力発電所の工事現場を視察



- ・現地視察（日東水力発電所工事、層雲峡消防署はしご付消防車、ホテル層雲撤去跡地、小樽商科大学サテライトオフィス、中央町J R官舎）

### 層雲峡の街灯のLED化について

笠間委員

町道北3条線等で街灯のLED化を進めるとのことだが、層雲峡商店街のLED化の予定はあるか。夜は真っ暗で、観光地としては暗すぎると感じる。

町長

層雲峡プロムナードの改修は環境省が行うとの協定を結んでいるため、今回の対象からは外れている。環境省と協議を進めていきたい。

### イベントの交通安全・騒音対策

溝口委員

7月にバイク愛好家が集まる「2りんかん祭り」を行うとのことだが、町内に相当数のバイクが入ってくる。交通安全や騒音対策は。

造力課長

職員とボランティアでバイクの誘導等を行う。バイクで会場（総合グラウンド）まで向かう際の経路を2つに絞り、病院の前では徐行も促す。ステージ上では交通安全の講話も行われる予定だ。交通安全・騒音に配慮し、運営していく。

### みんなが輝くまちかかわ事業の実績は

泉委員

昨年度に始まった新しい事業だが、6年度の実績は？

担当係長

4件対象となり合計で約46万円を支援した。予算が150万円だったので、まだまだ多くの事業が実施できる。去年実施した団体も意欲的なため、今年も多くの実施を期待している。



使われていなかったテニスコートを開放し、ドッグランとして利用している

### お試しドッグランの利用状況は

小林委員

総合体育館のドッグランの利用状況は。

担当係長

総合体育館の屋外テニスコートを、6年度秋に60日間お試しドッグランエリアとして開放してきた。利用者は延べ642人、一日平均11人。今年度は5月中旬の開放を予定している。

溝口委員

敷地内の状況を見るとまだまだ環境整備が必要。状況だが、今後の予定は。お試しドッグランを始め、町民から「テニスコートが空いているなら開放して使わせてくれないか」との問いかけだ。草刈り

副町長

しているなら開放して使わせてくれないか」との問いかけだ。草刈り

など無理のない範囲で整備をしてはいるが、本格的に上川町にドックランを作りたいということであれば、他に適地もあるし費用もかかる。

今年度ニーズ調査を行った上で、お金をかけずに楽しめる方法はないか探っていく。

### 郷土資料館の今後の展望は

大村委員

一年中開館しているが、冬期はコストもかかる。冬期閉鎖など検討しては、今、郷土資料館の建物を、資料館としてだけでなく

副町長

複合的に使える拠点（アイヌの工芸品づくり・林業関連事業など）として整備する計画がある。そのようなたちで施設を充実させ、通年利用していきたい。

### 産業福祉常任委員会

▽4月30日

・主要テーマと年間スケジュールについて

▽6月4日

・7年度の主要事業について

・現地視察（旭町団地外壁長寿命化工事、日東古川橋架替え工事、ホテル層雲撤去跡地、大雪森のガーデン、水田基盤整備現地）



日東古川橋架替え工事の予定地を視察

### こども園の食物アレルギー対策

宮本委員

こども園に食物アレルギーの園児はいるのか。また対応はできているか。アレルギーの園児はおり、アナフィラキシーショックを発症したことがある。お子さんもお預かりしている。

園長

調理の過程で原因物質が混入することのないよう厳重に対応するほか、アナフィラキシーショックを防ぐエビペンの使用についての職員研修等も行っている。

### 国保税は将来的にどこまで上がるのか

上員委員

令和12年度までに北海道で国保税を統一化することだが、どのくらい上がるのか。

福補佐

平均すると一人当たり約18000円の増額見込。一気に上がらないよう、基金を投入し、なだらかに上昇させていく予定だ。

### ヒグマ情報センターの発電機リース料の負担について

宮本委員

ヒグマ情報センターの発電機リース料を町が負担することだが、センターの運営はどこか。町で負担する理由は。

経課長

センターは環境省の所有だが、ヒグマ対策は環境省のほか森林管理署・北海道・上川町の4者で行っている。センターのある高原温泉は上川町の重要な観光地であり、また環境省が今年度予算を付けられなかった等の事情もあり、町で負担することとなった。



高原温泉のヒグマ情報センターに発電機（写真右側の青い箱）が設置された

### 介護保険訪問リハビリ導入

宮本委員

令和8年度からは始める介護保険訪問リハビリとは。

病院事務長

これまで「医療保険」の訪問リハビリはあったが、介護認定を受けている方は対象外となるため、わざわざ通所してリハビリを受けてもらっていた。

この負担は大きく、自宅に引きこもってしまう方もいた。介護保険の訪問リハビリであれば、そのような方も支援できるようになる。

### 議会運営委員会

▽5月13日・6月12日

上川町議会定例会および臨時会

の運営について

### 議会広報特別委員会

▽6月27日・7月14日

議会広報第198号の編集及び校正について

### 全員協議会

▽4月24日

議会のペーパーレス化・タブレットの活用について

▽6月17日

上川高校の地域連携校への移行について

### 上川高校の「地域連携校」への移行の影響は

**小林委員** 連携校に移行すると募集停止要件はどうなるのか。

**教育長** 地元進学率の条件はなく、2年連続10人を下回った場合に募集停止となる。

それ以外は、基本的には存続していくことができる。

## 令和6年度の政務活動費を報告します

**政務活動費とは**…地方自治法の規定に基づき「議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員に対し交付することができるもの」で、上川町では年間12万円を交付しています(申請方式、使わなかった分は返還)。

例えば、議会関係セミナーの自主的な受講(研修費)、議員活動のための情報収集に必要な書籍・雑誌の購入(資料購入費)などが経費として認められています。

令和6年度の各議員の政務活動費の使途状況は、次のとおりです。

(単位：円)

議員名		濱田 純子	笠間 法考	宮本 敬嘉	昔農 正春	湯川 秀一	淵上 主美
項目	交付額	120,000	0	120,000	120,000	120,000	120,000
支出内訳	調査研究費						
	研修費	86,290					
	会議費						
	資料作成費						
	資料購入費	12,750		10,051	18,301	10,051	6,600
	広報費						
	事務費	777			4,187		3,135
	計	99,817	0	10,051	22,488	10,051	9,735
	返還額	20,183	0	109,949	97,512	109,949	110,265

議員名		小林 健男	大村 優介	泉 勝雄	溝口 久男	石山 浩幸	合計
項目	交付額	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	1,200,000
支出内訳	調査研究費						
	研修費						86,290
	会議費						
	資料作成費						
	資料購入費		27,345	10,051	19,650	10,050	124,849
	広報費						
	事務費			1,777	777		10,653
	計	0	27,345	11,828	20,427	10,050	221,792
	返還額	120,000	92,655	108,172	99,573	109,950	978,208

# 議会 ニュース

## 表彰されました！

濱田前監査委員が多年にわたり監査委員を務めた功績により「上川町村等監査委員協議会表彰」を受賞しました。



## 美唄市DMOを視察しました！

7月9日に「地域DMO（一社）ステイびばい」を視察しました。

美唄スノーランドを海外に売り込んでインバウンドが爆発的に増えたことや、産業間連携として、菜の花を観光資源としたプロジェクトが誕生したことなどをお伺いしました。



## こども園のオープニング

### セレモニーに参加しました！

3月27日に行われた認定こども園「ここふれ」のオープニングセレモニーに議員が参加しました。濱田議長は子ども達といっしょにテープカットを行いました。



## まちづくりトーク募集中です！

「このことについて議員の考えを聞きたい」「とにかく議員と話してみたい！」

そんなご要望ありませんか？ まちづくりトークは、町民さんが議会を身近に感じて頂けるよう、令和5年から始まった意見交換会の制度です。

《要件》

- ・ 5名以上の参加が見込める集まりであること
  - ・ 開催場所を申込者にご用意いただくこと
  - ・ 時間はおおむね1時間30分 ※他要件あり
- まずはお気軽にご相談ください。

(受付：上川町議会事務局01658-2-4064)



## 表紙のコメント

### 幼稚園と保育所の「いいとこどり」を目指して

令和7年4月に開園した「認定こども園ここふれ」について、元幼稚園の先生にお聞きしました。

——子ども達はこども園に慣れましたか？

澤崎さん 当初は馴染んでくれるか不安がありました。最初は恥ずかしそうにしていた子もあつという間に慣れていったと思います。

保護者懇談でもそういう話を聞いたので、大人が思う以上に子ども達は柔軟でした！

八巻さん 年長のクラスのほうが、緊張している子や、初めから元気がいっぱいの子など、様々な姿が見られました。堂々とした子がみんなを引っ張ってくれる場面もあり、心強く感じました。開園から3ヶ月が経ち、今ではすっかり慣れて毎日元気に楽しく過ごしています！！



3歳時クラス保育教諭  
澤崎 芳枝 先生  
(元上川幼稚園)

5歳児クラス保育教諭  
八巻 美早 先生  
(元のぞみ幼稚園)

——先生の働き方は変わりましたか？

八巻さん シフト制になり、慣れるまで体が大変でしたが、先生がたくさんいる分、お休みも取りやすくなって助かっています。

——幼稚園の鼓笛や体操がこども園にも受け継がれていますね。

八巻さん 開園前に幼稚園と保育所の先生各1名で、こども園になったら何をやりたいか何度も話し合ったんです。午前は幼稚園で行っていた課程も多く取り入れています。元保育所の子たちも楽しんでくれています。事前に決めていたことも実際にやってみて「朝の会の時間はこうしていったら良いね」と変えたことも。幼稚園と保育所の両方のいいところを取り入れようと、先生たちが一丸となつてがんばっています。

一般質問で町政は動き出す

## たね 一般質問が実を結ぶ



令和5年9月の質問を覚えているでしょうか？



昔農議員「猛暑が続き、授業後に児童が熱中症で亡くなるなど痛ましい事故も起きている。早急に冷房設備を設置すべき」

教育長「財源の確保や、エアコン設置の前段階の電気工事などで、複数年かかる事業だ。1年でも早く設置できるよう努めていく」



## この質問をきっかけに 小・中学校の エアコン

が7年度中に設置されることになりました



今後もより良いまちづくりに努めます